

広報

No.122

くさ

昭和58年8月15日

発行・編集 国見町企画課

お  
も  
な  
内  
容

国保税率を引上げ	2~3
あの人この人(佐藤智秋さん)	5
おしらせ	6~7
公民館だより	8~9
わだい	10



'83

8月

“夏をふきとばす”

—小坂小学校で—

# 一世帯あたり27万8千円

## 去年使った医療費

やむを得ない国保税の引上げ

昭和五十八年度の国保税の税率改正が、七月の臨時議会で決まりました。今年も、医療費の増加などにより九・九%引き上げられ、一世帯あたり平均一万一千四百五十円の負担増となりました。やむを得ないとはいえ、高くなる一方の国保税。私たち一人ひとりが健康に留意し、いくらかでも国保税の引き上げをおさえていきましょう。今月は、おもに国民健康保険と国保税についておしらせします。

### 予算の伸び四・一%

昭和五十八年度国民健康保険特別会計予算は、総額五億五千三百七万五千円で昨年度と比べ四・一%の伸びとなりました。これは、みなで使う医療費の増加と受診率の伸びが大きな原因となっています。

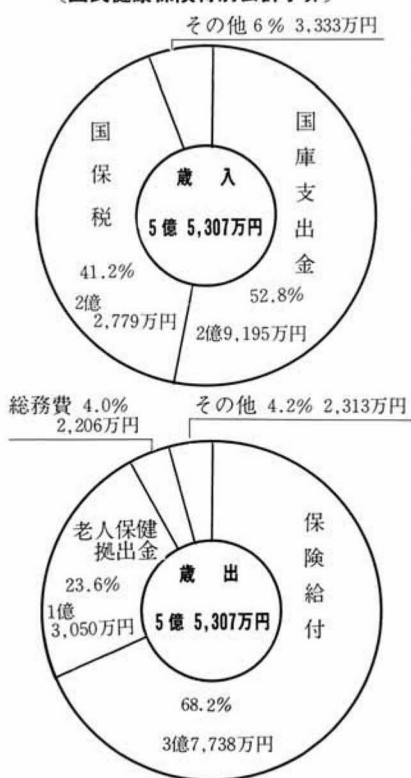
ことしの税率改正後の国民健康保険の一世帯あたりでは、一万一千円増の十二万八千六百九十七円、一人あたりでは、約四千万増の三万七千五百九十九円の増加となりました。

### 一人八万五千円の

### 医療費

ことしの国保会計に占める医療費の総額は、歳出総額の九一・八%にあたる五億七千八百八十三万三千円で、昨年度と比べ四・六%の増となっています。

〔国民健康保険特別会計予算〕



これを月割りにすると、四千二百二十二万円の給付額となり、年間一世帯あたりでは約二十九万円、一人あたりでは約八万五千円の大きな金額となります。昨年度は、一世帯あたり約二十七万八千円（負担していた国保税は約十一万九千円）一人あたりでは約八万円（同じく国保税は三万四千円）の医療費が使われ

## 58年度 国保税率

I. 所得割	3.84%	II. 資産割	31.92%
III. 均等割	14,256円	IV. 平等割	20,964円
(1人)		(1世帯)	

### 保険税額算定例（町の平均世帯の場合）

- ・所得額 1,457,000円
- ・課税標準 1,237,000円
- ・固定資産税算 43,784円

I. 所得割	$\frac{3.38}{100}$	47,500円
II. 資産割	$\frac{31.92}{100}$	13,975円
III. 均等割	(14,256)	57,024円
IV. 平等割	(20,964)	20,964円

国保決定年税額 139,463円  
※最高限度額は28万円です。

ました。医療費が少なくなれば、負担すべき国保税が少なくなるのは国保

のしくみです。健康に注意する、ちよつとした心がけが国保の家計を助ける要因なのです。

### ◆医療費はみんなのもの

急カーブで上昇しつづける医療費に、わたしたちの国保制度そのものが危機にさらされています。国保は「困ったときにはみんなで助け合おう」という精神によって運営されています。医療費はだれのものでもありません、みんなのものなのです。みんなの医療費を正しく適切に使っているか考えてみましょう。

### ◆安易にお医者さんにかかるのはやめよう

国保がまたできていないころ、

現在、おとしよりのみなさんは、いろいろな種類の医療保険に加入している。その制度のもとに医療を受けているわけですが、五十八年二月一日から老人保健法が施行され、七十歳以上（寝たきりの場合は六十五歳以上）のすべてのおとしよりのみなさんの医療は、新しい制度のもとに運営されることになりました。

### ●目的

おとしよりのみなさんの医療費が、年々増えつづけており、おとしよりのみなさんを多くかかえる国保が財政難におちいっています。

つまり、医療費の全額を自分で支払わなければならないとなつたときと比べて、現在のわたしたちは、お医者さんにかかる時、初診時の三割を支払うだけで、その病気が完

### 医療費を たいせつに

治するまで治療が受けられるという恵まれた社会に住んでいます。しかし、それにあまえて、ちよつとしたケガ、頭痛、二日酔などで安易にお医者さんにかかったり、

老人保健法は、みなさんの健康な生活を願つて、また、国保の財政難を救うためできた制度で、国保やいろいろな健康保険組合などから一定の拠出金を出し合い、構成されるものです。

### 老人医療法とは

老人保健法により、今まで七十歳以上（寝たきりの場合は六十五歳以上）の方の医療費は無料でしたが、これからは一部負担金を支払うことになりました。また、七

趣味のようにお医者さん通いをするなどというようなことはしてはいないでしょうか。

### ◆医療費は正しく使おう

むやみにお医者さん通いをしてしたり、おとしよりの方たちにみられるがちな医療機関の社交場があり、また次々とお医者さんをはしごするなど、先にもあげたようなことはやめ、医療費をたいせつに使いましょう。もしそのようなことがあるとすれば、わたしたちの国保財政をおとしれているのだということを肝に銘じてください。

十歳以上の方はもちろんのこと、四十歳以上の方たちに対して、健康全般に関する保健事業を行います。

### ●一部負担金とは

●1ヵ月 400円  
(一医療機関につき)  
月が変われば400円かかります。たとえば4月30日に受診して400円、5月1日に受診すればまた400円かかります。

●1日 300円  
(2ヵ月間)  
入院した日のよく々々の前日まで、1日につき300円支払うことになり。たとえば、4月3日入院、6月2日まで毎日300円かかり「そのあとは無料」になります。

### 入院の場合

### 外来診療の場合

### 高額療養費

五十八年一月から四万五千元

から五万一千円に改定されました。

病氣、ケガでお医者さんにかか

つて、医療費として一人、一ヵ月、一つの病院・診療所について五万

一千円を超えて支払った場合は、

その超えた分は全額、国保が負担して、あとから払いもどします。

ただし、低所得者（住民税非課税世帯）は三万九千円です。

### 健康優良家庭紹介

地区 氏名 年数

伊東 一永 2

浅野 幸次郎 2

村上 桂子 2

井砂 みさを 3

松浦 セツ 2

菅野 マツエ 3

菅野 マツエ 3

引地 幸徳 3

秦地 福寿 3

大限 幸祐 3

小島 賢二 3

八島 正美

菅野 秋雄

中村 吉子

佐藤 要吉

小幡 喜一

菊地 エイ

村上 トキ

安部 アキラ

引地 茂太郎

八巻 次男

菊地 順偉

長谷川 芳男

吉田 タカ

佐藤 定次

斎藤 マサエ

武田 マサ

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

大木 戸

6

2

6

5

2

4

4

4

4

4

4



わたしたちが使う国民医療費は毎年一兆円ずつ増え続け七十七年度は、一人当たり約十二万円、国民全体では十三兆八千八百億円にのぼると見込まれています。このままの状態が続くと今後、必要な医療を確保するために、一人ひとりの保険料や税金の負担を大きくして、医療費の増加を補う必要がでてくるかも知れません。

そうならないようにするためには、医療費の無駄をなくし、増え続けている医療費を適正な規模にまで抑える必要があります。もちろん、医療の「質」を落とさずに——です。

この「国民医療費の適正化」という目的を達成するため、厚生省に「国民医療費適正化総合対策推進本部」が置かれ、対策が講じられています。しかし、

それを実際に、しかも効果的に  
行えるのは、医療の受け手である  
わたしたち自身であるといえ  
ます。  
それでは「膨れ上がった医療  
費を適正な規模にする」ため、  
わたしたちにどんなことができ  
るでしょう。

**医療費の適正化と健康づくり**

**病気の予防から  
“健康増進”へ**

《基本は病気にかからないこと》  
医療や健康の問題は、次の三つの段階に分けて考えることができます。

① 病気にかからないための予防や積極的な健康増進  
② 病気にかかったときの治療  
③ 治療が終わったあとの注意  
いままでは、このうち②の治療に重点が置かれていました。病気がなくなったとき、安心して必



要な治療が受けられることよりも重要なことです。しかし「予防にまさる治療はない」という言葉にもあるとおり、最も基本的なのは病気がかからないことです。

そのためには「予防」からさらに進めて「健康の増進」を図ることが大切です。わたしたち一人ひとりが自分の健康は自分で守るといふ自覚を持ち、パランスのとれた食事・規則正しい生活を心がけるなど、病気にかからない生活習慣を確立することです。

一方、健康診断や保健指導などを積極的に受けて、病気の早期発見に努めることも大切なことです。

こうした、わたしたち一人ひとりの健康増進に対する心がけが、医療費の適正化につながっていくのです。

**保健婦さんに相談を**



集団検診などで保健所へ行ったとき、保健婦さんのお世話になった方も多いと思います。

保健婦さんは、医者と違って診断や治療はできませんが、早期発見、早期治療のための検診や、病気の予防のための健康教育を行います。さらに、一つ、意外に知られていないのが、家庭訪問による介護と健康相談という仕事です。

大都市の場合、保健婦さん一人当たりの受け持ち人口が多いので、いつでも来てもらうというわけにはいかないようですが、それでも困ったときに相談すれば何らかの手だてを考えてくれます。

寝寝たきりのお年寄りや、難病の患者をかかえて、看護などに困っている方は、是非一度最寄りの保健所で保健婦さんに相談してみてください。看護や在宅患者の生活環境を改善するための指導のほか、公的な医療給付についての相談にものつてくれます。

**阿武隈川上流流域下水道  
(東北処理区)事業認可について**



県北都市計画区域に含まれる一市五町を対象とした、阿武隈川上流流域下水道事業(東北処理区)のうち、福島市、伊達町、桑折町、国見町を範囲とする、左岸幹線管渠、飯坂幹線管渠、国見幹線管渠と浄化センターについて、建設大臣による事業の認可がありました。

認可の内容は、県が昭和六十六年までに事業を実施しようとする計画であり、当町に該当する事業については、管渠整備として左岸幹線約二・三キロ、国見幹線約二・一キロ、そして県北浄化センターを建設し、昭和六十七年に一部処理を開始しようとする計画です。

町が施行する関連公共下水道の計画については、流域下水道の一部処理開始時にあわせるため、実施計画の調査に入る予定です。

認可の内容については、役場建設課窓口において縦覧に供しています。

※詳しいことは建設課 二二一におたずねください。

### 町政モニターサロン

阿部ノブ



## 食品について思うこと

近頃の新聞やテレビなどに、健康食品とか自然食品といったものがよく宣伝され、また、実際使用されている人も多いと思います。スーパーや閉店などでも、農家と契約して、一つの目玉商品として売り込み力を入れていているとの記事もありました。

それは、とりもなおさず、現代の食品が、いかに農薬や加工段階での、有害な添加物が含まれている

ような努力すべきだと思います。また、農産物は、現在の農業のあり方から見て、無農薬栽培や有機農業は、労力の面や品質の低下をきたし、低コスト、多収穫の原則に逆行し、農家経営がピンチに追い込まれて、国際競争に敗れ、我国の農業も、崩壊するに至ることと思われまふ。

このような現況を、いかにすべきかが、私たちの大きな課題です。

るかを物語っているものと思われまふ。この中には、危険な発がん性の物質も含まれているとの事をききますと、ほんとうに末恐ろしくなります。

このような、危険な食品添加物の使用には、国の規制を待つばかりませんが、私たち消費者も、よく加工品の表示を見て、防腐剤や、着色料使用の有無を調べ、そのような食品は、なるべく買わない

いささかの自衛策として、みなさん実行されている。自家菜園はいかがでしょう。

たとえ、一坪の空地でも、また、土地のない人は、プランター栽培でも結構だと思います。自分の思うまま作れ、趣味と実益をかね、これこそほんとうの健康食品だと思います。

(大木戸耕谷内七)

## あの人に

64

—バイクにける青春—

佐藤智秋さん

(藤田字太子堂32の1 22才)



味を持つようです。でも、バイクに乗って走ると、全身で風を切り、自然の中に自分もはこんでしまふような、車では味わうことのできない、そんな感じがして、とてもバイクが好きです。と語る智秋さんがその青年だ。

夜のハイウエー。流れるような光の波の合間を縫って、風を切るナナハン。真夏日のなまぬい空気が頬をなぶるのも心地よい。ド・ド・ドと腸までしみるようなエンジン音。車とは、一味も二味も違う響きだ。この音に、たまらなく魅せられた青年がいる。

「最近、一人でバイクを走らせている人が減ったようです。やはり、若い人はどうしても車に興

味を持つようです。でも、バイクに乗って走ると、全身で風を切り、自然の中に自分もはこんでしまふような、車では味わうことのできない、そんな感じがして、とてもバイクが好きです。と語る智秋さんがその青年だ。

現在、バイクで走ることの好きな人たちがつくっている「クニミツーリングクラブ」に入っています。「入ったきっかけは、バイクがもともと好きだったし、町にツーリングクラブがあることも知っていました。入りたいと思っていた時に、クラブのほうから勧誘のハガキがきたので喜んで入りました。五十六年の三月でした」という。

入った当時、三百五十ccだったバイクも、現在は、スズキGSX 七百五十cc通称「ナナハン」に変わった。クラブの、毎月一回の定例

ツーリングにはかかさずでいる。本業は大工さん。休みの日は、天気が良ければバイクに乗っているという。「バイクは好きだけれど、ほんとは怖いんですけど、自分でも、運転が未熟だと思っているし、だから、けつしてムリをせず、スビードも控えめにしています。」

バイクに乗ると、全身を緊張させ、厳しい顔つきになるが、バイクを降りると、いつも笑顔をたたえた好青年である。「バイクに乗っていて、ほんとうに良かったなあと思うのは、年に二回、秋から冬にかけて、一人でバイクに乗って旅をするんですが、旅先のユースホテルで知り合った、同じバイク仲間と語り合えるということ。同じ年代だし、次の日、笑顔で別れられる。最高ですよ。」

今秋も、半月ぐらいの予定で、北海道旅行を計画しているそうだ。

「よく、ツーリングしてはいると、暴走族と思われるがちですが、それは誤りです。われわれのクラブは、全員、交通規則を守って走っています。かえって、一人でバイクで走っていると、中年の女性などが、幅寄せなどして、とても危険です。ドライバーの人も、注意してほしいと思います。」

今まで、事故を起こしたことは、もちろんない。バイクの好きな人は、ぜひいっしょに走ってみたいかが。



### 身体障害者補装具 相談会のお知らせ



身体障害者手帳の交付を受けている方で、補聴器、車イス、補装具などについての相談や、新規に補装具を購入したい方、また、補装具の調子が悪く、修理をしたい方は、ぜひ、相談会をご利用ください。

期日 八月二十九日(月)  
会場 午前六時三十分～午後三時三十分  
会場 国見町公民館(老人子供室)会場(国見町公民館(老人子供室)を参るもの)  
身障者手帳、保険証、印鑑

### 住宅統計調査に ご協力を



十月一日現在で、住宅統計調査が実施されます。この調査は、「住

宅の国勢調査」といわれる大規模な調査で、私たちの生活の基盤である住宅の状況を明らかにするとともに、国や県、市の住宅建設計画、都市計画、環境整備計画などの立案のための資料として広く利用されます。

調査対象となる世帯は、全国で約四百万世帯、国見町でも二百三十世帯が調査の対象となります。九月下旬から、調査員が調査票を配布しに世帯を訪問しますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票に記入された事柄は、統計を作るだけに使うものでそのほかにはいっさい使用しません。

○街づくり、わたしも協力、住まいの調査  
※問い合わせは役場企画課へ  
(☎三三) 有線(四七五)

### 福祉年金受給者の みなさんへ



八月に、福祉年金の受給を受けたい方は、お早めに、福祉年金証書、町役場年金係まで提出してください。

提出期限は、八月末日までです。

### 「毎月勤労統計調査」 についてお願い



労働省では、今年七月三十一日現在で、常用労働者一、二十九人の事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施いたします。

この調査は、一、二十九人規模事業所における賃金・労働時間および雇用の動向を明らかにするもので、その結果は、これらの事業所に働く人たちのための、諸施策の基礎資料にするたいせつな調査です。

八月中旬から、調査の対象となる事業所には、統計調査員がお訪ねしますので、調査の重要性をご理解いただき、ご協力くださるようお願いいたします。

なお、調査しました個々の事実を、税金関係など統計以外の目的に使用することは絶対ありませんから、調査事項については、統計調査員にありのままお話しくださいようお願いいたします。

福島県企画調整部  
統計調査人口労働統計係

☎(0495) 211-1111  
へお問い合わせください。

## 国見の地名

③

### 壇ノ越

菊池利雄

県道藤田・梁川線から南に分岐して、森江野小学校へ向う町道が、瀧川を渡った対岸の台地の地名は壇ノ越と呼ばれている。

このあたりの地形を概観すれば、小坂の木落山を水源とするこの町最長の河川である瀧川(二、三km)が、途中西根台地を下刻しながら壇越東方約1kmの所で、阿武隈川のはらん原に流出しており、その両側には川岸段丘と呼ばれる、棚状の崖地の発達が見られる。

また森山の道祖神のある唐形から瀧川を渡った、対岸の川岸段丘付近の地名も大木戸の壇ノ越であり、一般的にこの地方では、川岸段丘を道が切通し状に、横断する所を壇ノ越と呼んでいる。

藤堂明保編の「漢和大辞典」によれば、壇とは、「土を盛つて高くする」壇を平に盛らした土台で、天、地の祭りや、諸侯の会合・將軍の任命などの行なわれる所」とされているが、壇ノ越の「壇」

は川岸段丘の上部が平坦なため、壇状にみだてての呼名と解される。平安時代の辞書である「和名抄」には、現在の伊達郡にも含まれていた信夫郡の郷名に、岑越郷(現福島市腰浜付近)がある。また摺上川北岸の東湯野の増田(現福島市)には岑越なる地名が残されており、両者とも地形的にみれば阿武隈川や摺上川によって、台地が浸食されてできた崖(川岸段丘)上に位置する地名である。「古代地名辞典」(東京堂出版)によれば、「岑は周囲と比較して特に高くなっている所。越は崖の意」として、岑越を「崖の発達した山」とする説を掲げている。(「歴史の道」奥州道中。福島県教育委員会)壇ノ越と岑越とは類似の地名で、強いと言うならば、崖地の高い場合が岑越、低い場合が壇ノ越とみてもどうであろうか。



▲ほ場整備前の大木戸壇ノ越 (S 53年 8月撮影)

# 善意の窓

町社会福祉協議会に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
五万円―故ヒサさんのご遺志

◆佐藤幸子さん(駅前)から  
五万円―故正一さんのご遺志

◆国見町理容・美容親睦会から  
一万円(五回目)

藤田小学校に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
二万円―故ヒサさんのご遺志

小坂小学校に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
一万円―故ヒサさんのご遺志

◆朽木哲也さん(前田)から  
児童図書(三万円相当)

―故トミさんのご遺志

森江野小学校に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
一万円―故ヒサさんのご遺志

大木戸小学校に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
一万円―故ヒサさんのご遺志

栗北中学校に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
一万円―故ヒサさんのご遺志

藤田幼稚園に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
一万円―故ヒサさんのご遺志

山長育英資金に

◆秦勝喜さん(大町南)から  
五万円―故ヒサさんのご遺志

## 道路をまもる月間

(8月1日～8月31日)

「道路にもやさしさ 気くばり思いやり」

「この道路明日は我が子が歩む道」

「ゆとりあるあしたをきずく道づくり」

## 予約受付中です

―県民手帳・県のすがた―



町企画課では、県民手帳、県のすがた、県勢要覧の昭和五十九年版の予約申込み書を部送回覧しています。内容は次のとおりです。ぜひ一家に一冊お求めください。

◆県民手帳(統計資料付き)

三百五十円

◆県のすがた(最新地図、統計グラフ七色刷) 三百五十円

◆県勢要覧(県勢がひとめでわかる資料) 千三百円

## きれいな広告で 住みよい街を



毎年八月一日から八月三十一日まで、違反広告物をなくし、明るく住みよい街をつくるための「屋外広告物をきれいにする運動」が行われます。

ポスター、立看板、広告塔などの屋外広告物の掲出は、ますます増加しており、商店街、道路沿線、観光地などでは、特に目立ちます。県内には、屋外広告物を表示してはいけない地域や、街路樹のように、表示が禁止される物件があります。また、特に認められているもの以外は、知事の許可を受けなければ、屋外広告物を表示することはできません。

県では、美観風致の維持、危害の防止のため、法令の規定に違反している屋外広告物の一掃に努めており、県民のみならず、ご協力くださるようお願いいたします。

なお、くわしくは、

保原土木事務所

(☎)〇二四七五―二二五二  
におたずねください。

8月1日～31日は

「電気使用安全月間」

●つりざおを持ったときは  
電線に注意



東北電力

## 一人ひとりのマナーで 騒音防止を!!



最近、バーやスナックなど、飲食店のカラオケによる騒音が、大きな問題になってきました。営業者は―▼まず、店の外で音を聞かずに、隣近所に迷惑をかけていないか確かめてください。窓は二重にし、出入口のドアはしっかりと閉めたものにしましょう。▼ボリュームは、外にあまり音がもれないように調節しましょう。▼必要に応じて、店舗に防音対策工事を施しましょう。▼条例に定められている使用時間、音量などを守りましょう。

また、利用者も、隣近所に迷惑をかけるよう注意しましょう。

## 心配ごと相談日

場所：役場二階相談室(東側入口からお入り下さい)

時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

[相談員]

8月25日(木) 遠藤 喜一、牧野 容子  
9月5日(月) 菅野 賛郎、梁瀬 貞子  
9月14日(水) 樋口 清三、佐藤マサイ

## および

8月 葉月(はづき)	9月 長月(ながつき)
22日(月) 小中学校二学期始業式	1日(木) 二百十日
23日(火) 満月	防災の日
24日(水) 処暑	8日(木) 白露
30日(火) 防災週間	13日(火) 世界の法の日
建築物防災指導週間	15日(木) 敬老の日

# 公民館だより

## キャンプ研修会

### 少年仲間づくり教室

国見町公民館  
電話 (公)26766  
(南)4156



▲ファイヤーを囲んで



▲いげたに点火

去る七月二十二・二十三日公民館で、子ども会のリーダーを育てる少年仲間づくり教室のキャンプ研修会を行った。予定では、靈山子どもの村での二泊三日の研修でしたが、天候不順のため、急変更し、公民館での宿泊研修になりました。

子どもたちは、キャンプをたいへん楽しみにしていたらしくテントに泊まれず、中には、あきらかに口をたがらしていた子もいましたが、キャンプファイヤーをして、満足したようです。

この共同生活を通じて、協力して、食事、キャンプファイヤーの出し物などやりとげる喜びを感じ、より多くの仲間がつけられました。



▲自分たちの手でグラウンド整備

町体協野球部と大木戸地区家庭スポーツ振興会で町民運動場(大木戸)の整備を行なう

長い梅雨で思うように使えなかったグラウンドも、先月下旬のつゆ明けと同時にスポーツも活気を帯びこれからいよいよ本番。……ホームグラウンドとしていつも使っている町民運動場(大木戸)も(土)の両日の早朝、各自、唐鎌や、草削りなどを持ち寄り町民運動場の草むしり、石拾いなどの労力奉仕作業を行い、あの広いグラウンドも見違えるように、きれいに整備されました。……本当にありがとうございます。……

ボランティアは、だれかがやること、また、大げさなことで考えがちですが、どなたも毎日の生活の中で自然のうちにこなしているもの、ボランティアだと思ふのです。

毎日の生活そのものが、ボランティアでありますと、なんの抵抗もなく、スナナリとけ込むことが出来るものであると思います。

どなたも家族のため、人のため、社会のために尽くしたい気持ちがある訳で、もつともつと、おしまなく、ボランティア精神を出すべきではないでしょうか。

そのことにより、いたわりや、助けあう心が生まれ、それが生きがいとなり、しあわせにつながるものと思います。

——あなたかく、たすけあう町をつくりましょう。——(町民憲章より)

## さくらんぼ文庫

今までの石母田文庫が、六月から「さくらんぼ文庫」という名前になりました。

文庫は木・若葉の間でキラキラ光るさくらんぼは子どもたちです。

土曜日の午後一時から二時まで月三回くらい、いっしょに遊ぶつもりで本の貸し出しの他に、折り紙遊び、紙芝居、本の読み聞かせ



▲みんな楽しみにしています

など、私自身も楽しんでます。

どんな小さなことでも続けて行くことがたいせつだと思つてます。今、文庫に来ている子どもたちが、中学生、高校生、そして社会人になった頃、このさくらんぼの木は、もう少し大きく成長しているでしょうか？

石母田字弁天沢一七  
☎ 二〇四六佐藤公子

## 会員募集

過ぎて行く時には、数々の思い出があります。そんな記録をビデオに撮りませんか。

年令、男女、器材の有無を問いません。興味のある方の参加を希望します。

◎練習日 毎月第三水曜日

◎場所 国見町公民館

◎会費 年三千元

◎教材 自費負担

申し込み及び問い合わせ先

町ビデオクラブ 新村国夫 ☎ 元九九



### 楽しかった ご飯づくり



森野小学校  
佐藤 彦

キャンプがはじまって夕方になつた。「さあご飯作りだ」ぼくはこの時を楽しみに待っていたのだ。ご飯づくりには、はんごうというものに米と水を入れふたをしめ、たき木でたく、その火をたたくのがたのしみでたのしみでたまらなかつたのだ。それでぼくだけでは火もたけないので班長の吉田まさひ

ろ君と、指導者の人まで火のたき方をやった。

ぼくは、しゅくはくくんれんでならつたのははんごうでご飯がたけられたその後のことも知っていた。そのやり方はご飯がたけてからははんごうのふたを木などでかるくたたきそしてすばやくひっくりかえし、くさでははんごうをあらうようにこする、そしてそのまま十分くらいおいておく。

「ご飯うまくたけているかなあ、それともこげこげで食べられないかなあ」と思いながらふたをあけてみた。するとどうだろうおいしいように出来ていたのである。ぼくは「やったあ」と思った、でも食べ

てみると少ししかたかつたがみんなはうまいと言つて食べた。

ぼくもカレーだったのでカレーとご飯を混ぜておかわりをしておいしく食べたが大人の人が思ったより食べなかつたので「ずい分いぶくろが小さいなあ」と思った。

次の日になって朝ご飯だ、まだご飯作りができる、ぼくはとつぜん心がうきうきとして来た。そして今朝は夕べの雨で土がしめつていたし雨がパラパラとふつていたのでぼくは燃えるかなあと不安だつたがまさに石油を少ししかけたので、ご飯がうまくたけたいおかげもうまくつたし全部大成功だつた。

### 楽しかった キャンプファイヤー



小坂小学校  
柴田ひとみ

七月二十二日二十三日は、キャンプの日でした。

一日目の夜にキャンプファイヤーをやりました。その前にいろいろ練習しました。歌をやったり出し物の練習をしました。私たち一ばんは、「お組の人」のおどりをやりました。

この案を考えた人は、村上弘人

君です。二十一日に佐藤真知子さんがサングラスと黒いズボンと白い服持ってきてねと電話がきました。黒いズボンがないので学校のトイレを持っていきました。本番の時の前白い服と白い手ぶくろとズボンに着がえました。真知子さんは、サングラスをかけるとうごくこわく見えます。指導者の八巻ゆう子さんもまぎつてやりました。

本番の時ドキドキしました。音楽がスタートし私たちはおどりはじめました。と中で菅野絵美子さんが「ひとみちゃんかっこいい」と言つたので私はおこつてよけい

はずかしくなりました。

六ばんまでの出し物が終つてから手ぬぐいあそび、急がしいお父さんなどのゲームをやりそれが終つて最後に「一日の終り」を歌つてキャンプファイヤーの火がだんだん消えていきました。

「お組の人」をやる時は、はずかしかつたけれども、たくさんの友達ができました。とつても仲良くなつて遊びました。キャンプファイヤーも楽しかったけれど友達ができなくて良かったです。また今度ももっと友達をつくり一回も休まないようにしたいと思います。本当にとつても楽しかったです。

### 日本ゲートボール協会 三級審判員誕生

去る七月七日(木)町公民館で日本ゲートボール協会の三級公認審判員養成講習会が開かれ、町内はもとより、郡内から六十九名が受講、午後の認定試験に挑戦、その結果、町内から、三級審判員、三十二名が誕生しましたので、お知らせします。(今後ゲートボールの普及にお手伝い(ご協力)したいとのこと故、何卒よろしくお願いいたします。)

- ◆ゲートボール三級審判員氏名次のとおり。(敬称略)
- ◆藤田地区(六名)  
斎藤正美・遠藤源五郎・樋口金治
- ◆農協(二名)  
大波健一・佐久間照男
- ◆役場・公民館(四名)  
佐藤幸子・阿部琴生・奥山隆夫・渡辺等
- ◆大木戸地区(五名)  
志村良七・岡田辰三・志村清一・遠藤重俊・岡田重夫
- ◆大枝地区(三名)  
佐藤喜一郎・斎藤正・松浦幹男
- ◆森江野地区(七名)  
八巻藤七・穴市市郎・蓬田欽一・小島庄衛・菊地新一・小幡喜一・大波隆雄
- ◆遠藤芳之助
- ◆小坂地区(四名)  
佐藤元一・関口正一・熊坂善七・遠藤幸之助

### あつかし俳句会

万緑の中に一叢菝葜草  
寺の畑和尚手入に咲く萱草  
浜木綿を縫ふて一帯海女行く  
試歩の杖空縦横の夏つばめ  
濡れて咲きあじさいの色色若し  
紅花の紅滲ませて雨あがる  
夕立や集いの足の散りにけり  
茂庭路は露にまみれて道の神  
狭小の庭に可憐な花菖蒲  
ガラス戸に透つてはらし夕の蝶  
夏書として自題の文字ぐせ乾ききる  
花萱草たつた一本畦に咲く  
幾年か花咲き匂ふ深山百合  
こだわりを知らぬ気楽なサングラス

奥山 甲二  
熊田 一陽  
小野寺 萬水  
阿部 亭司  
赤間 はる子  
増田 三果樹  
佐藤 国樞  
高橋 浦夫  
牧野 水夫  
斎藤 山水  
角田 昭子  
熊坂 きよ  
原田 和喜  
森田 栄子

## 戸籍の窓口

(7月受付分)

### 出生おめでとうございます

子の名	保護者	保部	落
昭(よしあき)	八巻英昭	第七母田	表北城東
宏(ふみひろ)	佐藤晴雄	石大高源	町山東
和(かずゆき)	渡辺栄善	子大内利春	町本東
明(あずき)	吉田和衛	子美(よ)	町吉第
優(あゆみ)	吉田和衛	子美(よ)	町吉第
さ(さやか)	吉田和男	知賀子(ちか)	百合子(ゆかり)

### ご結婚おめでとうございます

氏名	部	落
村上登寿夫	第八	二
村谷照子	第八	二

### おくやみ申し上げます

氏名	年齢	部	落
藤彦	45	宮町南	北東
英次郎	69	大町北	町取南
常和九夫	76	第鴨第鳥大	宮町明
嵐田藤房	38	九正	田光
十藤九正	79	田正	田光
吉遠藤	65	佐藤	田光
新山加佐	64	藤田	田光
佐藤	90	藤田	田光
小安	69	藤田	田光
	69	藤田	田光
	74	藤田	田光

## 母と子の交通安全教室

開催される

子どもと老人の交通事故防止を図る「交通安全やまびこ運動」の一環として、七月十六日(土)、森江野交通安全母の会(斎藤ミツ会長)が主催となり、「母と子の交通安全教室」が開催されました。福島警察署から、二名の交通巡視員を招き、大枝と森江野の季節保育所の児童を対象に、それぞれ大枝集会所と徳江北部公民館の二会場で開催されました。



▲紙しばいで交通指導

明るいブルーの制服姿の交通巡視員による紙しばいとお話しに、児童は、しんけんに聞きいつていました。会場せましとつめかけた母親からも、惜しみのない拍手が送られていました。

## ミスビーチが来庁

七月二十六日、そろいのピンクのワンピースに身をつつんだ、五人のミスビーチが役場を訪問しました。

今年で、二十一代になるミスビーチ十人のうちの五人で、代表であいつをとした近能由美子さん(福島市・十九才)は、「新鮮である、かわいい福島のモモを、北海道や関東などにPRしていきます」と語り、職員から盛大な拍手を受けていました。

また、渡部助役は、「身体をこわさずに、元気で頑張ってください」と激励しました。なお、お盆ころ帰省客でにぎわう東北自動車道園見サービシアリアでも、ミスビーチが活躍します。

## 子どもみこし・樽みこし

町を練り歩く

八月二日、観月台公園にある富士神社のお祭り日にちなみ、子どもみこしと樽みこしが、かけ声も元気に、町を練り歩きました。この子ども夏祭りは、今年で五年目を迎え、藤田小学校の男子



▲五人の美女たち

三年生以上、女子四年生以上の百二十数名の児童がかつぎ手になり、二十五キログラムのみこしと、三基の樽みこしを、「ワッショイ、ワッショイ」と、暑さもふきとばしていました。



▲かけ声も元気よく

## 人口と世帯

8月1日現在(前月比)7月中のうごき

男	5,898人	(-9)	転入	9人
女	6,241人	(+6)	転出	9人
計	12,139人	(-3)	出生	9人
口			死亡	12人
世帯数	2,867戸	(+1)		

## 編集日記

○長かった梅雨もようやく明け、今度は、福島特有のうだるような猛暑続き。私も、少々夏バテ気味ですが、みなさんも、体には十分注意してほしいと思います。

○今月号で、国保の医療費について取りあげましたが、日頃のちよつとした心づかいで防げるものもたくさんあると思います。暑いとどうしても暴飲しがちですが、ようは、一人ひとりの注意がたいせつです。みんなの医療費、大事に使いたいものです。